

ROTARY : Making a Difference

ローター: 変化をもたらす

2017~18年度年度

国際ローター会長 Ian H.S.Risely



## 東京麹町ロータークラブ

50周年祝賀会まであと 189日

### 本日の例会プログラム

第17回例会 2017.12.4 (#2186) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 蔵本君 会費係 後藤君

受付係 崎山君 福田君

司会者 藺君 ソングリーダー 齊藤君

卓話 「飲酒運転と、飲酒問題」

東海電子㈱専務取締役 杉本 哲也氏

紹介者 保科会員

### 前回の報告

第16回例会 2017.11.27 (#2185)

会場: ベルギー大使館

## 移動例会@ベルギー大使館

### 会長報告

- 1) 本日は、スレーワーゲン閣下のご好意で、このように移動例会をベルギー大使館で開催する運びとなりました。心より御礼申し上げます。  
3日の福島マルシェ@ベルギー・スクエアでも大変お世話になりました。マルシェの後のレセプションでは多くの皆様はこちらで美味しいベルギービール等をいただきました。今後とも末永く交流を深めることをお願い致します。
- 2) 卓話の時間では、ベルギーについてのプレゼンテーションをいただきます。
- 3) 50周年記念祝賀会まであと196日、200日を切りました。一丸となって記念すべき祝賀機にしましょう

### 幹事報告

- 1) 今月は、マルシェから始まり、行事がかさなり、本日はまた大使館での移動例会を盛大に行えますこと、スレーワーゲン閣下をはじめ皆様にお礼申し上げます
- 2) 3/1の日台親善会議のご登録は本日中に登録料15,000円を添えてお申込ください。また、この会議に合わせて親睦旅行を行います。3/1は会議と夕食会、3/2にゴルフコンペまたは観光を予定しています。親睦旅行に参加希望をお知らせください。
- 3) 2/21の地区大会のご登録もよろしく御願致します。

### 例会記録

会員総数 46名	出席会員数 32名
ゲスト 8名	その他 0名
ビジター 0名	事務局 2名
海外ビジター 0名	出席率 78.73%

11月6日 Make-up 後の

出席率 85.67%

### 【今週のMU状況】

乳井会員(11/21 新橋RC)  
久保田・荘村会員(11/27 会長幹事会)  
秋山会員(11/30 地区国際奉仕委員会)

### 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために  
なるかどうか

### 次回予告

第18回例会 2017.12.11 (#2187)

会場: 舞の間  
例会ホスト・紹介係 杉本君  
受付係 木寅君 澤本君  
会費係 荒川君  
司会者 藺君  
ソングリーダー 齋藤君

卓話 「100周年に向けて  
～ありがた検討委員会より」

ありがた検討委員長 若林会員

## 紙舗の二百年～榛原の現在・過去・未来～

(株)榛原 広報部 中村陽子氏(ローターア外会長) (10/23 卓話)



本日は「紙舗の二百年」というタイトルで創立の経緯から、現代の取り組みまでお話をさせていただきます。

榛原は文化3年に創業された和紙舗です。創業者、中村佐助は若い頃書物問屋に奉公していました。当時の書物

問屋は、本の販売だけではなく、木版摺りによる印刷も行う、本屋さん兼出版社の様な存在でした。そこで得た木版摺りの知識とコネクションを生かし、年季が明けた後に、雁皮紙とよばれる質の良い和紙に美しい木版摺りを施した巻紙や絵封筒を販売する問屋を開業します。それらは、すべらかで墨つきがよく、髪の毛のように細い文字もきれいに書く事ができるという事で、特に美意識の高い江戸人々の間で評判になり、雁皮紙はいばらの名前で江戸に知られるようになります。

幕末から明治時代という文明開化の世においては、榛原は国内でいち早く西洋紙の輸入販売を行い、同時に諸外国に対しては各種博覧会を通じて積極的に和紙の紹介を行います。この時期、博覧会や文物交換を通じて海外に渡った榛原製品の多くは、当時の日本の技術や意匠を伝える資料として保管され、現在もイギリス・ロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館やキュー・ガーデン、スコットランド・グラスゴーのケルビングローブ博物館、フランスのパリ装飾美術館など、世界各国のミュージアムにおいて保存されています。

この時代、榛原の動きの特徴としてもう一つ挙げられるのが、美術家との交流です。江戸時代より、文人画家に商品の原画を依頼してきた榛原ですが、三代目当主の榛原直次郎は若い頃より美術研究に熱心で、明治～大正期にかけては柴田是真、柴田真哉、綾岡有心、川端玉章、河鍋暁斎などの画家と交流を深め、団扇や扇子、木版摺り製品などの榛原製品の原画を多く依頼しました。榛原で販売を行っていたのは千代紙、便箋、団扇と言った生活の中で消費されてしまう物ですが、そこに一流の絵師の才能を取り入れる事で「人々の生活と芸術を結ぶ」ことを目標としました。

昭和39年、榛原五代目に中村正男が就任します。戦争により世相が一変し、和紙を中心とした経営が困難を極めた時代でしたが、中村正男は大正時代に開発に成功した、計測記録紙の印刷工場を設立し、その収益を持って榛原の暖簾を維持します。

和紙の需要が減る世の中においても上質な和紙を提供し続けました。長年に渡る和紙の加工で培われた技術によって製造された記録紙の質は高く、昭和44年のアポロ11号に搭載され、月面記録に用いられるなど、国内外で評価をうけました。

この様な歴史を経て、現在まで榛原は続いて参りました。現代の榛原の取り組みとして紹介したのは主に二つです。一つ目は、伝統的な和紙加工技術の維持。二つ目は、所蔵する美術資料の商品化です。

榛原は昔から和紙に木版摺りなどの加工を施し、便箋や金封など生活の中で活かせる形で販売する事を得意として参りました。現在でもその伝統を受け継ぎ、木版摺り師、彫り師、水引工など様々な職人さんのお力を借りて商品を制作しています。

こういった伝統技術の継承の傍らで行っているもう一つの取り組みは、所属する美術資料の商品化です。

榛原では江戸時代から昭和期まで、様々な美術家に商品の図案の製作を多く依頼していました。多くの資料は震災・戦災によって失われてしまいましたが、残った物は大切に資料室に保管し、新商品の開発時に資料としています。

昔の千代紙には、ただ紋様としての美しさだけではなく、使う人が幸せになるようなメッセージが込められています。そういったメッセージを絶やすことが無いように、榛原では千代紙を復刻し、また日常生活の中に取り入れやすいように、ノートやペン立て、小箱等に仕立てています。

現代の生活の中で、和紙は必ずしも生活必需品ではありません。しかし、紙を使う文化の中には言葉に出さなくても相手に想いを伝えたり、幸せを願ったりする気持ちが込められているように思います。そういった和紙に託された日本の文化を次の世代に届けていくのが私たちの役割だと思っております。ご清聴頂き、ありがとうございます。

### クラブだより No.17

12月18日は夜間例会にてクリスマス家族会です。

ご家族皆様でご参加下さい。

年内はクリスマス会で終了となり、新年明けて初例会は1月15日 紀尾井町RCとの合同例会です。

### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	久保田智也	FAX:03-3263-9122
幹事	荘村明彦	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	木寅雅之	URL : www.koujimachi-rc.jp